

1

今年度の結果と取り組みについて

(1) 全国学力・学習状況調査

○●国語●○

国語A	国語B
<p>(領域ごと)</p> <p>①話すこと・聞くこと やや課題が残る結果であった</p> <p>②書くこと 良好な結果であった</p> <p>③読むこと 概ね良好な結果であった</p> <p>④言語事項 良好な結果であった</p> <p>(問題形式)</p> <p>①選択式 概ね良好な結果であった</p> <p>②短答式 良好な結果であった</p> <p>(無解答率) 概ね良好な結果であった</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正答率の高かった設問 *目的に応じて、図と表とを関係付けて読む ・正答率の低かった設問 *平仮名で標記されたものをローマ字で書く ・無解答率の高かった設問 *ローマ字で表記されたものを正しく読む 	<p>(領域ごと)</p> <p>①話すこと・聞くこと 良好な結果であった</p> <p>②書くこと 良好な結果であった</p> <p>③読むこと 概ね良好な結果であった</p> <p>(問題形式)</p> <p>①選択式 概ね良好な結果であった</p> <p>②記述式 概ね良好な結果であった</p> <p>(無解答率) 概ね良好な結果であった</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正答率の高かった設問 *目的に応じて、複数の本や文章等を選んで読む ・正答率の低かった設問 *目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く ・無解答率の高かった設問 *目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む

【分析】

- ・ほとんどの項目で、全国平均値を上回っている
- ・無解答率についても、ほとんどの項目で全国より低い
- ・時間配分の難しさから、最後の問題になるにつれて無解答率が高くなっている
- ・『目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う』という趣旨の問題に課題が有るので、的を絞った話し合い活動が進められるようを指導していくことが大切と考えている
- ・主体的に考える力が弱い
- ・ローマ字の正答率が低い

○●算数・数学●○

算数・数学A

(領域ごと)

①数と計算

概ね良好な結果であった

②量と測定

概ね良好な結果であった

③図形

良好な結果であった

④数量関係

良好な結果であった

(問題形式)

①選択式

概ね良好な結果であった

②短答式

概ね良好な結果であった

(無解答率)

概ね良好な結果であった

(その他)

- ・ 正答率の高かった設問
* 不等号を理解している
- ・ 正答率の低かった設問
* 単位量あたりの大きさの求め方を理解している
- ・ 無解答率の高かった設問
* 1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している

算数・数学B

(領域ごと)

①数と計算

概ね良好な結果であった

②量と測定

概ね良好な結果であった

③図形

概ね良好な結果であった

④数量関係

良好な結果であった

(問題形式)

①選択式

概ね良好な結果であった

②短答式

良好な結果であった

③記述式

概ね良好な結果であった

(無解答率)

概ね良好な結果であった

(その他)

- ・ 正答率の高かった設問
* 示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じ決まりが成り立つかを調べることができる
- ・ 正答率の低かった設問
* 示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できる
- ・ 無解答率の高かった設問
* 示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる

【分析】

- ・ ほとんどの項目で良好である
- ・ 特に「数量関係」に秀でている
- ・ 「量と測定」の『単位量あたりの大きさの求め方』の理解が低い

○●経年比較●○

【全体的な傾向についての分析】

- ・ 多少の変動は有るが、上がってきている
- ・ 国語、算数ともにBの力が伸びてきている
- ・ 思考力や表現力が伸びてきたと読み取れる
- ・ 基礎基本となる算数A問題の伸びが小さい

【学力高位層と学力低位層についての分析】

- ・ 高位層は増加傾向、低位層は減少傾向にある

○●取り組み●○

【学力向上に関する取り組み】

<方針>

- ・ 新学校教育目標「夢とできる喜びを分かち合い、瞳きらめく中津っ子」に設定
- ・ 学力向上推進目標「確かな学力をつけ、生きる力を育成する」と年間計画の作成
- ・ 校内研究推進体制づくり
- ・ 支援を要する児童への支援内容の検討と実施
- ・ 習熟度別少人数授業実施と個に応じた教育の充実（通級指導の実施や支援サポーターや専門支援員の活用）
- ・ 集中して静かに聞く力と集中して取り組む力の育成
- ・ 書く力を高めるノート作りやノート評価の充実
- ・ 自分の意見や考えの根拠、実験した結果と考察などを自分の文章でまとめる活動の増加
- ・ 言語活動を大切にし、定着すべき基礎言語を獲得させる取り組みの実施
- ・ 課題のある子どもへの学習内容定着のための補習の充実（20分休み・昼休み・放課後・長期休業中）
- ・ 家庭との連携を深め家庭学習（宿題）を徹底させる取り組みの実施
- ・ 基礎基本を確実に定着させ、学力低位層を減少させる
- ・ 教職員の授業力向上（分かりやすく、学びたいと思わせる授業の実施）
- ・ 学び合い、高め合える学級集団づくり

<検証>

- ・ 全国学力学習状況調査の分析とジャンプアップ計画の修正補完
- ・ 算数診断テストと漢字テストの実施、分析
- ・ 学校教育自己診断実施と分析結果の共有
- ・ 授業アンケートの集計
- ・ ノートのまとめ方の紹介と交流
- ・ 漢字だけでなく、基礎言語定着を図る小テストの実施と分析（数学的用語）

○●取り組み●○

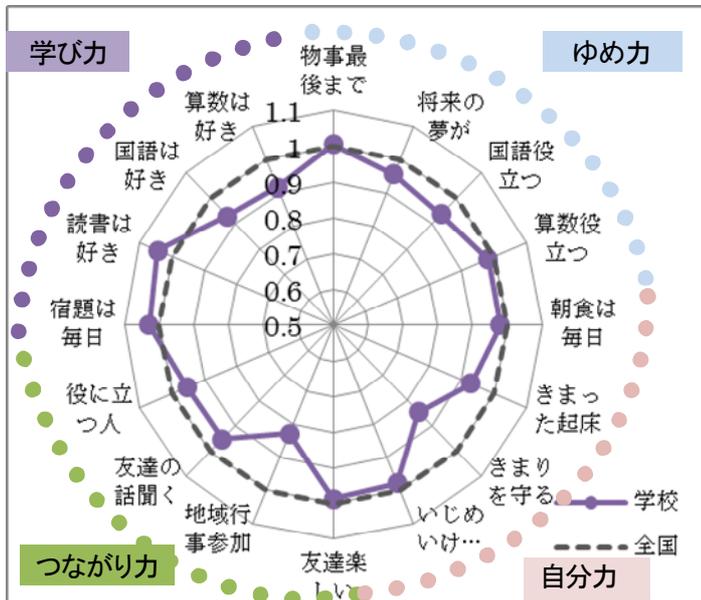
【学力向上に関する取り組み】

<具体策>

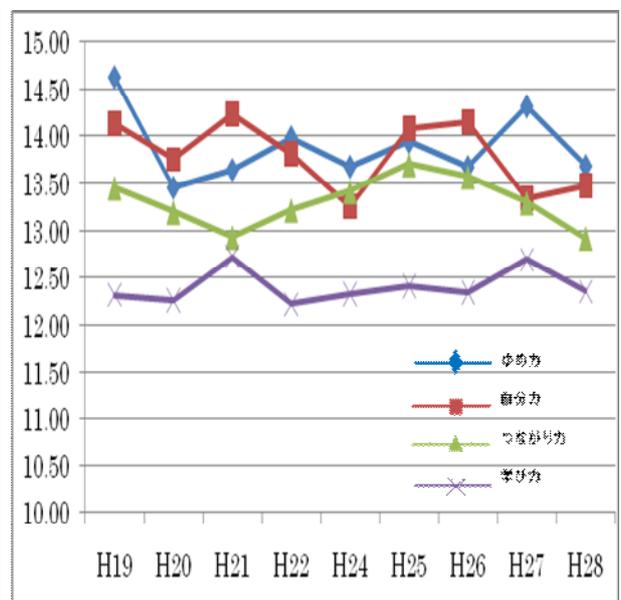
- ・毎週木曜朝のステップアップタイム（国・算）の取り組みから、基礎学力の蓄積を進める
- ・朝学習の内容は漢字練習に加えてミニ作文に取り組むなど、その内容を拡充していく
- ・朝の読書タイムや休み時間の読書から興味と習慣化で読書量の拡充をめざす
- ・基礎的内容の定着が図れるよう、授業内容や時間を工夫する（繰り返し計算等）
- ・算数の応用力をさらに伸ばすため、問題解決学習と読解力の育成に努める
- ・高位層の児童には別プリント等を用意し、意欲的に問題を解かせるなど工夫する
- ・声を出す取り組みを大切にし、国語力を育てていく
- ・演劇コミュニケーション教育などを活用し、声に出して表現する取り組みを推進する
- ・基礎基本の学習の徹底で、低位層の更なる引き上げを図る
- ・学力に課題のある児童について、放課後指導や長期休暇中の学習支援を展開する
- ・問題に向う時に、途中であきらめず最後まで粘り強く取り組むよう声かけをする（無解答率減少のため）
- ・豊かな心を育むための道徳研究を進める
- ・研究授業や各種研修を通して、児童の聞く力や集中力を高める教員の授業力向上を図る
- ・学校だよりや中津っ子だよりなどで学校の取り組みを発信し家庭の教育力を向上させる
- ・学習環境の整備から集中できる環境づくりをめざす（黒板周りの掲示物を隠すなど）
- ・支援教育サポーターや専門支援員などの人的配置の継続
- ・毎日プリントの取り組み実施
- ・作文作りや振り返りの記入を毎日行い、文章を書く力を伸ばす指導の拡充
- ・朝の読み聞かせや図書委員の読み聞かせ活動の実施
- ・学級内で児童が理解できたことを教え合う取り組み（高位層が低位層に教える活動）
- ・ノートにまとめた意見等を学級で紹介し評価し合う
- ・板書を視写する以外の自由度の高いノート作りに取り組む
- ・国語的、数学的、科学的言語の定着を図る掲示物の作成と活用
- ・低位層の子どもにあった家庭学習の方法（復習や短期間での繰り返し練習）を提案し、家庭の協力を求めつつ、学力を向上させる
- ・府教育センターの学習コンテンツを活用する
- ・タブレットを活用し、個に応じた学習量で復習等に取り組ませる

○●子どもたちに育みたい力●○

今年度の結果



これまでの推移



【分析】

<ゆめ力>

- ・「物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある」の数値が高い
- ・「将来の夢や目標をもっている」割合が低い
- ・「算数・国語が役立つ」の数値が低い

<自分力>

- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の数値は全国平均並である
- ・「学校の決まりを守っている」の肯定的回答の割合が低い

<つながり力>

- ・「学校に行くのが楽しい」と感じている児童の割合も全国平均並である
- ・「人の役に立つ人になりたい」と思える児童の割合が低い
- ・「地域行事に参加している」の項目は低いが、学校行事と地域行事の違い等分かりにくいいため、数値ほどの実態ではないと考える

<学び力>

- ・「家で宿題をしていますか」の項目は高く、家庭での学習習慣は身につけている。家庭学習の手引きや、自習学習の取組等の成果がでている
- ・「読書は好きですか」の項目は高い

○●取り組み●○

<ゆめ力>

- ・今後も出前授業や外部人材を活用するとともに、日常のきめ細かで丁寧な取り組みを続けていく
- ・習熟度別少人数授業を導入していることが、きめ細やかな学習指導と支援につながっている
- ・朝のステップアップタイムの効果は大きいので、今後もこの取り組みを続けていく。
- ・国語力を高める授業の展開と、言語活動の質の向上を図る取り組みの工夫と実施
(学級や学年・学校全体の掲示板等に、国語力を高めるような掲示や、詩等の紹介をする)
- ・算数、国語学習の有用性を知らせ、学習を前向きにとらえる事の大切さに気付かせる
- ・将来への展望を持てるようキャリア教育の充実を図る

<自分力>

- ・基本的な生活習慣を身に付けるため、家庭との丁寧な連携を行う
- ・学校だよりや中津っ子だよりで基本的な生活習慣の啓発をすすめる。
- ・説話だけではなく、心に響くような指導（読み物資料や人権学習内容）を通して、心を育てる
- ・きまりを守ることの大切さについて、学校教育全般を通して丁寧な指導を行う
- ・学級懇談会等で、保護者に児童の実態を伝え、家庭が学校とともに子どもを育てるという意識の共通化を図る。
- ・いじめ防止の徹底を図るとともに、自分も他者も尊重する取り組みを進める
- ・自分を振り返る取り組みを設定する（月目標の振り返りや課題に応じた取り組み）

<つながり力>

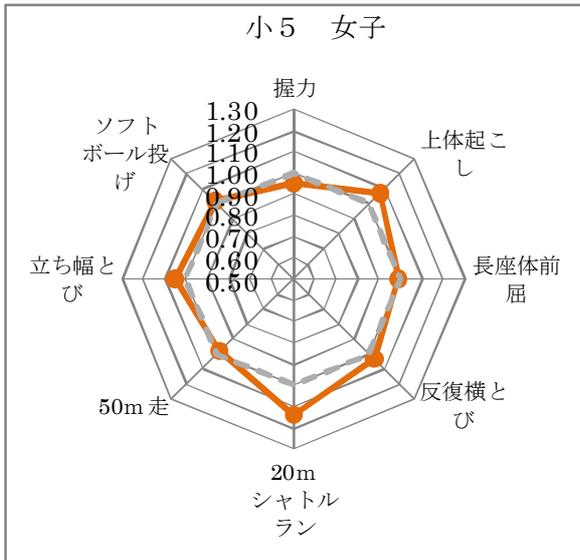
- ・地域の人とつながることの大切さを児童が学ぶために、地域人材ゲストティチャーの活用や地域行事に積極的に参加するよう学校として支援していく
- ・友達の話や学級の中でしっかり受け止めて聞くことができる、学級集団づくりをさらに進める
- ・学習（総合等）を通して、人の役に立つことの素晴らしさを感じられるようにしていく
- ・グループ活動や、学級活動を通して、友達の話をしっかり聞き、ともに考えて取り組む態度を育てる
- ・お互いのよさが違いを認め合える仲間づくり、一人ひとりが自信を持てる場づくり、信頼しあえる学級づくりを大切にしながら日常の取り組みを続けていく

<学び力>

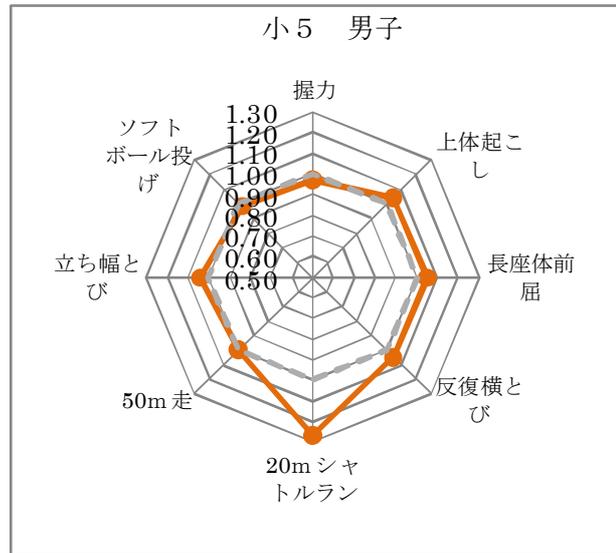
- ・意欲的に学ぶ力を高め、「できた」「わかった」と実感できる授業の充実をすすめていく
- ・保護者と連携し、家庭学習を進める
- ・読書時間の確保に努めるとともに、図書館支援員を活用し、本に親しむ取り組みを積極的にすすめる
- ・『ひろば読み』の取り組みを、毎年実施する
- ・全学年での読み聞かせの取り組みを今後も進めていく

●●体力●●

女子 (小5)



男子 (小5)



【分析】

- ・全国平均に比べ、概ね良好である
- ・男女ともにシャトルランが特に良好である
- ・男女ともに上体起こしが良好な結果である

●●取り組み●●

- ・鉄棒や登り棒などの握る運動を取り入れる
- ・ソフトボール等ボールを投げる機会を設け、投げ方の指導をする
- ・体育の授業の初めに茨木っ子運動や基本的運動を継続的に取り入れる
- ・「運動する楽しさを味わう事ができる授業」をめざし、系統立てられたカリキュラムを作成する
- ・校内マラソン大会の実施や、発達段階に応じたマラソンカードの活用など、目標をもった持久力を高める活動を進める
- ・教材や教具などの充実を図る
- ・縄跳びジャンピングボードの作成、修繕などを行う
- ・小中連携を通して、中学生による陸上競技指導を実施する
- ・体力テストを4・5・6年で実施し、自己診断を行うとともに結果を分析し、体育の授業力向上を図る
- ・学級活動や委員会活動等で外遊びを奨励し、企画、実施する
- ・外部講師を招聘し、出前授業を行う

2

3年間の計画

(各校)

(ブロック共通)

	学力向上	体力向上	中学校ブロック連携
目標	「確かな学力」の育成	運動に親しむ子どもの育成	連携カリキュラムの作成
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標の見直しと周知 学力向上推進目標と計画の作成 校内研究推進体制づくり 全国学力学習状況調査の分析と検証 学校教育自己診断の実施 要支援児童への支援内容検討実施 学習環境の整備(集中できる環境) 習熟度別少人数授業の実施 朝読書から興味と習慣を育成 朝学習ステップアップタイムの継承 声に出して表現する取組み(音読) 演劇コミュニケーション教育の推進 道徳研究や学びのシンポで授業力向上 中津っ子だよりなどで家庭の教育力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 春の体力測定と自己診断 いのちを守る水泳指導 新体力テストと分析 体力向上計画作成 運動会と段階的学習 マラソン大会の実施 学級による外遊び推奨 茨木っ子運動の活用 縄跳びボード新調と縄跳び運動の推奨 遊具の活用 保健学習と健康な体づくり 陸上競技の小中連携 	<ul style="list-style-type: none"> 東中学校、中津小学校、大池小学校の3校の「めざす子ども像」を決定 連携担当者会議の開催 「いきいきスクール」の開催 学校事務の共同実施 3校合同研修(含、授業研)の開催 3校の日(土)曜参観や研究授業の情報交換と各校からの参加 中学校教員による授業 保育所との連携
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標の浸透 全国学力学習状況調査の分析と取組 ジャンプアップ計画の修正補完 読書の楽しさを知り、読書量の拡充 朝学習ステップアップタイムの見直し 支援教育と個別指導体制の充実 授業づくりから言語力や読解力の育成 外国語教育の拡充 表現力や思考力のさらなる育成 HPや中津っ子だよりで地域教育力向上 学校教育自己診断の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間の拡充 体力向上計画の見直し 体力テストの活用 めあてが明確な体育授業 出前授業や外部講師の招聘 フリスビーやボール運動の活用 ペア学級による体づくり 表現運動の推進 運動が楽しめる環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 3校の「めざす子ども像」に基づき、合同授業研(研修会)を2回以上実施 連携担当者会議の開催(年間計画の交流・調整、連携カリキュラムの検討) 「いきいきスクール」の開催 学校事務の共同実施 3校の日(土)曜参観や研究授業の情報交換・各校からの参加
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標を学校、家庭、地域で共有 全国学力学習状況調査の分析と取り組み 学習環境と生活習慣の改善 読書習慣の定着とメディア活用力育成 朝学習ステップアップタイムの充実 支援教育や個に応じた教育の充実 外国語教育の拡充 言語力や表現力、思考力のさらなる育成 各教科の学習内容を実生活で活用 ICT機器活用力育成(タブレットなど) HPや中津っ子だよりで地域教育力向上 オープンスクールの実施 特色ある学校の実現 学校教育自己診断の実施 道徳教育や人権教育の推進 外国語活動を通して、中学校の授業に興味を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上計画の見直し 体力テストの活用 運動が苦手な児童への支援 運動が楽しめる環境づくり スペシャリストによる運動への興味づけ ペア学級による体づくり 様々な運動を楽しみ生涯スポーツへの継続 校内の体育研究授業の実施 体力向上プロジェクト公開授業への教員の参加 体育授業力の更なる向上 	<ul style="list-style-type: none"> 3校の「めざす子ども像」に基づき、共通教科を決めて合同で中1・小6の指導案を作成する 合同授業研(研修会)を3回実施 連携担当者会議の開催・深化 年間計画の合同作成 「いきいきスクール」の開催 学校事務の共同実施 3校の日(土)曜参観や研究授業の情報交換・各校からの参加を増やす 教科・支援・生指などの部会の開催→連携カリキュラムの作成 小中の段差解消に向けての取り組み 生徒会(中学校)と児童会(小学校)の交流